

＜定例会の主な議題及び要旨＞

令和3年4月8日（木）

【報告事項】

1 令和2年度下半期における留置施設に対する実地監査結果等について

（警務部）

警察本部から「令和2年度下半期において中央警察署等合計21留置施設を対象に実地監査を行った結果、一部所属において、護送従事員の選定に関する指導事項が認められたほか、特に良好な事項として、綿密な身体検査等の実施や留置業務に携わる警察官への創意工夫を凝らした教養等の実施があった。」旨の報告があった。

公安委員から「本県では一部の所属において女性専用留置施設が設置されているが、女性被留置者に対する処遇において男性被留置者と異なるものはあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「留置施設内の女性被留置者への処遇は、原則として女性留置担当官が実施しているが、性別の違いによる処遇の差異はない。」旨の説明があった。

公安委員から「県境の警察署から裁判所や検察庁へ護送する場合については、長時間に及ぶケースがあり、被留置者と護送従事員との会話も想定されることから、護送従事員の選定には十分注意してもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「護送業務における護送従事員の選定は、被留置者に対する便宜供与などを防止する観点から、当該捜査に関係のない他部門の警察官を選定するのが原則である。引き続き、各所属への指導教養等に努め、適正な留置管理業務を推進していく。」旨の説明があった。

2 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律違反事件被疑者の逮捕について

（暴力団対策部）

警察本部から「戸畑警察署、八幡東警察署及び北九州地区暴力団犯罪捜査課は、平成27年度の戸畑祇園大山笠の祭礼幕の復元新調事業等の補助金申請に際して、委託業者と共謀の上、利得金を水増しした合計約4200万円の虚偽の見積書を作成提出し、補助金合計約2100万円の交付を受けた補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律違反事件について、4月1日、北九州市戸畑区居住の自営業の男性ほか1名を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「本件被疑者と暴力団との繋がりはあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「今後、暴力団との関係性や金の流れを含め、被疑者に対する徹底した捜査を行い、本件の全容解明に努めていく。」旨の説明があった。

公安委員から「本件は、国等からの補助金を不正受給した悪質な事件であり、暴力団の関与を含めた徹底した捜査に努めてもらいたい。」旨の発言があった。